第146号
昭和37年6月1日

昭和29年10月15日
第三種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

広報おだわら

6月のこよみ

◎最盛期（一十五日）
◎夏至（一十一日）
◎夏の土用入り（一十四日）
◎夏の土用の丑の日（一十六日）
◎月見と夏祭典（七、十三、十四、十五日、午前9時～午後5時、青少年相談室）
◎柳原自転車競争（一日、午後1時、城原競輪場）

発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
荏可忠一
文書番号は国用

全世帯配布

小田原市の人口
5月1日現在
人口 128,985人
男 63,699人
女 65,286人
世帯 27,981
人口 338人 前月との比較
男 185人
女 153人
世帯 129世帯

完成間近い市民会館

市民会館工事急ピッチ

完成は七月二十日ごろの見込み

市民会館の工事は、鉄筋コンクリート造り、地下一階地上三階の会館部分と、地下二階地上三階の事務所部分とに分かれ、現在、屋根工事、内部の仕上げ工事、外部の仕上げ工事、電気工事、給排水工事、ガス工事、空調工事、舞台機構工事、音響工事、舞台照明工事、舞台装置工事、家具工事、外構工事などの工事が進められています。

この会館

新自治会長きまる

広報委員234名も委嘱

区の現在の状況を考慮して、町会設立の時期を選択されたいとの要望が新聞紙上に出ていましたが、小田原市の場合は、市内の各地区の実情が異なわれ、隣接市町村の合併問題が、市の周辺の各自治会の問題に関連して、市の周辺の各自治会の問題に関連して、市の周辺の各自治会の問題に関連して

安藤さんに厚生大臣感謝状

地区衛生組織の功労者

【写真】さる5月20日市営城内野球場で開かれた第7回日本陸連対抗、県健康センター対抗のうち婦人会員の民踊

さる月月三、十四の両日、関内高田で開かれた第7回全国婦人会連合大会に、厚生大臣から感謝状授与されました。

安藤さんは、さる昭和二十年、地元二代目会長に就任以来八年間の長きにわたり、同会の指導育成につとめられました。

また、同会の組織の拡大、会員の開拓、会員全員の、自治奉仕の精神を高め、また、子供会の育成、さらに、婦人会連合の、設置、清掃奉仕、地元三地区の、設置、清掃奉仕、婦人会の、設置、清掃奉仕、婦人会の、設置、清掃奉仕、婦人会

雨天に多い交通事故

―安全な速度でブレーキは早めに―

これから梅雨期にはいる時期になると雨の日になるのが続いてくるとの路面の悪いことから、ブレーキの効きが悪くなるとか、ガラスがくもるなどの事故が多くなります。

小田原警察署管内発生交通事故の原因を調べてみますと、雨の日の事故が、晴の日の事故の倍近くあります。

また、月別でみると、雨の日の事故が、五月、六月、七月、八月の四月間に集中しています。

この四月の原因は、四月の事故の原因の上位4位までが、ハンドルを切り過ぎたり、ブレーキを強くかけすぎたりしてスリップしたり、横断者を確認しないで、自動車を運転したりするなどの、運転者の不注意が、事故の原因となっています。

また、五月、六月、七月、八月の四月間は、自動車の運転者の不注意が、事故の原因となっています。

また、五月、六月、七月、八月の四月間は、自動車の運転者の不注意が、事故の原因となっています。

写真　第一部小田原様五代の栄

小田原市城址つり　野外劇に絶高の人出

本市の城址つり行事である小田原市民の市民祭は、さる五月の第一日曜日に、城公園で行われ、開催されました。

この日は、小田原五代の栄光を偲ぶ意味で、小田原城の前に、小田原市民の栄光を偲ぶ意味で、小田原城の前に、小田原市民の栄光を偲ぶ意味で、小田原城の前に、小田原市民